

多文化化する学校、 越境する学生

日時： 2016年 12月8日(木) 15:00～17:00

場所： 神戸大学 国際文化科学研究科E410(学術交流ルーム)

問い合わせ先： 栢木清吾 (kayanoki@harbor.kobe-u.ac.jp)

報告1

日本型学校歴社会とトランスナショナルな進路選択

— 帰国生・塾・大学入試体制 —

井田頼子

東京大学大学院教育学研究科博士課程。専門は国際社会学、教育社会学、学生移動。主な論文として、「日本の大学の帰国生入試における多様性とその帰結：『能力の社会的構成説』を参考に」『ソシオロゴス』（第39号、2015年、pp. 45-60）、「帰国生は『能力シグナル』をどのように認識するのか—塾での大学入試対策に着目して」『東京大学大学院教育学研究科紀要』（第53巻、2013年、pp. 19-29）。

報告2

異種混交化する地域社会の「共生」に関する社会学的研究

— 外国人学校をめぐる教育・社会的実践の変容を焦点に —

金南咲季

大阪大学大学院博士後期課程・日本学術振興会特別研究員。専門は、教育社会学（エスニシティと教育、地域社会と教育）。主な論文として、「地域社会における外国人学校と日本の公立学校の相互変容過程—コンタクト・ゾーンにおける教育実践に着目して—」『教育社会学研究』（第98集、2016年、pp. 113-133）、「外国人学校生徒は地域社会をどのように捉えているのか？—T校生徒に対する質問紙調査から—」『大阪大学教育文化学年報』（第10号、2015年、pp.43-55）。